

科 目 名
総合科目Ⅰ General LectureⅠ

1年 前期 2単位 選択

建築学科全教員

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(2), 2-(2), 2-(4), 2-(5)

【概 要】

本科目では、学生の基礎力の向上を目的として、一般常識としての読み・書き、専門科目を学ぶための基礎力を養う。また、学科教員が順次、担当することで、学生と教員との交流を自然に深めることができるようにする。

【到達度目標】

- (1) 一般常識としての読み・書きを身につける。
- (2) 専門科目を学ぶために必要な基礎力を身につける。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① ガイダンス	本科目の位置付けを説明し、グループ分けのための小テストを行う。
② 四則演算	計算技能検定（2級）程度の問題により四則演算の基礎を理解して数多くの演習問題を解く。
③ 三角関数	建築構造力学に関する三角関数の問題により基本的な解き方を理解して演習問題を解く。
④ 電卓の用法	演習問題を解く。
⑤ 単位と換算	建築構造力学に関係する演習問題を解く。
⑥ 指数関数	指数とは何か、指数法則、指数関数のグラフについて説明し、演習を行う。
⑦ 対数関数	対数とは何か、対数の性質、対数関数のグラフについて説明し、演習を行う。また、自然対数と常用対数の違いと表記について説明する。
⑧ 代数方程式	2次関数とグラフ、2次方程式、2次不等式について復習と演習を行う。 2元、3元連立方程式の解、不等式の解、1次、2次関数の最大値、最小値、曲線、円の方程式の解について復習と演習を行う。
⑨ 有効数字	近似値、有効数字と表記について説明し、演習を行う。
⑩ 国内外の都市再生事情	先進国や開発途上国の都市事情や街の再生実態を紹介する。 日本国内の市街地再開発、旧市街地の活性化のプロジェクト事例を紹介する。
⑪ 変わるもの、変わらないもの	住まいの中の、時代を超えて変わらないもの、変わるもの。国や民族にかかわらず変わらないもの、変わるもの。それらを手掛かりに住まいを考えます。
⑫ 理科系の作文技術	配布プリントを輪読し解説する。
⑬ 熊本市内の建築の視察	熊本市内の有名建築に学生を連れて行き解説する。 その内容についてのレポートを提出させ、それを種に議論をする。
⑭ 建築家VTRと文章のいろは	建築家のVTRを鑑賞して感想文を書き、その文章に基づいて、起承転結を明確にした文章に仕上げる。
⑮ 総括	総括と学生自身による自己評価

【授業方法】

1年生を数人毎の班に分け、各教員は1つの班につき2週にわたり担当する。ただし、②③、④⑤、⑥⑦、⑧⑨をそれぞれ一組とする。ローテーションを組むことで、全学生が各テーマの講義を受けられるようにする。

【学習到達度の評価】

- 1) 授業中に時間をとり、学生からの質問を受付ける。
- 2) 適宜、演習を課し、理解度を把握すると共に発展学習を促す。

【評価方法】

- 1) 受講態度、出席状況などを考慮して総合的に評価する。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【履修上の注意】

講義は各担当教員の卒研室で行われるため、2週毎に講義が行われる場所が変わる。この科目を履修する学生は、各自、事前に講義が行われる場所を確認しておくこと。

【オフィスアワー】

適宜、昼休み（12:00～1:00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。